

2019年 9月/9日

茅ヶ崎市長 佐藤 光 様住 所
提案代表者
電話番号

次のとおり政策の案を提案します。

市民の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 1 市内在住 <input type="checkbox"/> 2 市内在勤、市内在学、市内で事業活動等又は市に納税
勤務先、学校名、事業活動等の内容等	
提案する政策の名称	市庁舎の職員のための有効活用について
現状の課題、問題点	<p>茅ヶ崎市の市庁舎には、職員が気軽に地方公務員として知るべき情報等を学ぶ場所が設置されていません。他市の必要な現状を把握できる雑誌や法律の本などは、必要だと思ふ担当課が各自置いていると聞きました。</p> <p>しかし、それでは広範囲な情報や関連情報を知りえることが難しいと思います。出来れば、多くの職員に必要なことを知ってもらい、市民のための仕事に生かしてほしいと市民は考えています。</p> <p>他市では、様々な関連雑誌や法律に関する本などが置かれている場所が設置され、自由に見ることが出来るとともに、貸出等もできるようになっている場所があります。</p> <p>また、新市庁舎の各階には、トイレの近くにスペースがあり、机と椅子が置かれて、そこに自動販売機が設置されています。これからの時代、電気の消費も少なくすることが必要であるし、プラスチックの消費も考えるべき時に、各階に自動販売機が必要だとは思えません。ここは現在職員が昼休みに食事をしたりしております。このスペースを有効活用することが必要ではないでしょうか。</p>
提案する政策の内容	せつかく、各階にスペースがあり、机と椅子があるので、市民があまり使わない階の自動販売機を撤去して、本棚を周囲に設置し、職員にとって必要な書籍を置くことを提案します。
予想される効果	どこかの課にある書籍を借りるのではなく、職員が必要な情報を気軽に見ることが出来、仕事に生かすことが出来るので、市民のためにもなる。 デットスペースを有効に利用することが出来、市民の利用することが出来る。
必要な費用	各課がバラバラに備えている書籍を買わずに済むなら、費用は掛からないし、本棚は廃材で建築課が設置できるのではないかと考えるがそれがだめなら市民から大きさを指定し、本棚の寄付を募ればよい。

備考 1 本人が自筆で氏名を記入したときは、押印を省略することができます。

2 「市民の区分」欄は、茅ヶ崎市内に在住する場合は、 1 にレ印を記入し、茅ヶ崎市外に在住す